

第 1 3 回会議の論点

- ・今回は、資料 13-1 柏市総合管理計画「基本方針編」（素案）のうち、「第 3 章 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針」及び「第 6 章 推進体制」について、以下の論点を中心に御意見をいただきたいと考えています。
- ・第五次総合計画の「施策 7-2 公共施設等の最適化」に係る「施策の方針」の実現に向けて適切な考え方が示されているかという観点から御意見くださるようお願いいたします。

【第五次総合計画「施策の方針（施策の実現によって目指す市の姿）」】

市全体の公共施設及びインフラを総合的に管理する体制が整えられ、市民との情報共有が図られています。また、長期的視点に立った公共施設等の維持管理、更新、長寿命化及び適正配置等が計画的に進められており、公共施設等の安全性確保と市民サービスの維持、将来に向けた財政負担の軽減・平準化が図られています。

- ・なお、施設用途（類型）別、地域別に整理した、より具体的な方針については、次回会議において案を提示する予定です。

1 第 3 章 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

3-1 建築物系施設

3-1-1 基本方針（P23-25）

基本方針 1：施設機能の再編と総量の縮減

基本方針 2：計画的な保全による施設の長寿命化

基本方針 3：歳入の確保と管理運営費の縮減

- ① 3つの基本方針を掲げているが、過不足はないか。
- ② 基本方針 1 の「市民 1 人あたりの公共施設の延床面積は、全国と比べて低い水準にある」中であっても、「施設機能の再編を図るとともに施設総量の縮減を図り、「量」の適正化と「質」の確保を目指す」という考え方について

3-1-2 目標設定（P26-27）

(3) 数値目標の設定

施設総量（延床面積）の縮減については、将来推計人口を踏まえて今後40年間で13%減らしていくこととし、その他の方策を並行して実施することにより収支ギャップの解消を図ります。

- ①現在の施設保有量の水準（1人あたりの公共施設の延床面積）を適正と仮定し、将来推計人口を踏まえて、40年間で13%縮減して同じ水準とするという考え方について
- ②収支ギャップを解消するため、施設総量の縮減以外の方策（前回会議資料「公共施設等の総量抑制について」P3参照）を並行して実施するという考え方について

3-1-3 具体的な手法（P28-37）

- ①3つの基本方針それぞれについて具体的な手法を示しているが、過不足はないか。
- ②P29「②施設整備の優先順位の検討」について、義務的視点、市場的視点及び政策的視点などにより仕分けを行い、施設整備の優先順位を定めるという考え方について

3-2 インフラ系施設

3-2-1 基本方針（P38）

- ・ 3つの基本方針を掲げているが、過不足はないか。

2 第6章 推進体制

第6章「推進体制」（P46-49）については、御審議・御意見いただいた内容を踏まえ作成した本計画について、行政が責任を持って取組を進めるための内部の体制や進捗管理手法などを示した内容であることから、具体的な論点は設けずに、全般的にご意見をいただきたいと考えています。

3 「第4章 類型別方針」、 「第5章 地域別方針」の作成例

第4章及び第5章（資料13-2）については、引き続き庁内調整を行った上で、次の会議で案を提示する予定です。このため、今回の会議では、以下の点について御意見をいただきたいと考えています。

- ①全体の構成及び項目について、提示している内容でよいか。
- ②「第5章 地域別方針」について、各地域を同じ条件で比較分析するため、各地区にある公共施設の中で、広域対応施設は除いた、より地域に密着した地域対応施設のみを対象として分析しているが、その考え方及び対象施設は適当か。